

共育コミュニティは **今** VOL.21 TANAI3E

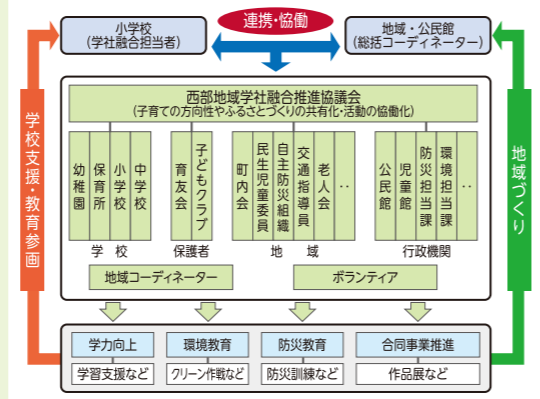
共育コミュニティ 学校・家庭・地域の様々な立場の大人が、子供たちの豊かな育ちを支え、同時に大人同士も育ち合う取り組みです。

田辺市の西部地域学社融合推進協議会での共育コミュニティづくりを紹介します。田辺市の西部地域学社融合推進協議会は、『平成28年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰』を受賞しました。

西部地域学社融合推進協議会とは

田辺市立田辺第三小学校と田辺市西部公民館は、平成23年度から3年間、学校・家庭・地域が一体となって子育てや地域づくりを推進する体制づくりを図るため、西部地域共育コミュニティ本部を立ち上げました。現在は、「西部地域学社融合推進協議会」としてその組織体制が引き継がれ、学校、保護者だけでなく、町内会長や自主防災組織、老人会、公民館長など地域の幅広い人材や行政の関係機関から構成されています。

本協議会では、「学力向上」「環境教育」「防災教育」「合同事業推進」の4つの事業を中心に、地域の特色ある活動に、地域の多くの方々にOK(オーケー)先生(学習支援ボランティア)として参加していただき、地域と学校とが連携・協力をしながら、学校支援・教育活動の充実と学校を核とした地域づくりに取り組んでいます。



オーケー OK先生とは

田辺第三小学校では、学習支援ボランティアの方々のことを、親しみを込めて「OK先生」と呼んでいます。呼び名の「O」は地域全体を表し、「K」は「繋(つな)ぐ」の音読み「けい」から、学校と家庭・地域を繋ぐという意味を込めています。また、学習支援が必要な時には、「OK」と言ってすぐに駆けつけてくれる頼もしい存在でもあります。

校内には、OK先生ルーム(ボランティアルーム)を設けています。OK先生と子供たちとの学習の様子を写真で掲示し、簡単な湯茶も自由に飲んでいただけるようになっています。



OK先生ルームの様子

OK先生による授業

OK先生が学校の授業に参加し、昔の暮らしや遊び、俳句学習、ミシン学習、そろばん学習などの学習支援を行っています。

【当日の授業までの流れ】

- ①学習単元で地域人材の活用について、授業者が計画したものを地域コーディネーターに伝え、OK先生の日程調整を進めます。
- ②事前打ち合わせを行い、授業のねらいを伝え、当日の役割分担を行うとともに、OK先生からも専門的なアドバイスやアイデアを出してもらいます。
- ③授業後、反省や課題を話し合い、子供たちからOK先生への感想やお手紙などで交流をします。



そろばん学習(3年生)の様子



ミシン学習(5年生)の様子

地域住民と学校が共に学び合い、元気のある地域になればと思っています。何よりも「地域の宝」である子供たちが、日々成長する姿に喜びを感じつつ、自分自身も楽しみながらボランティア活動が続けたいと思っています。(地域コーディネーター:大橋江美子、湯川富雄)

本協議会は、「地域の宝」である子供たちに地域のよさを知ってもらい、その一人一人が地域に愛着を持てるよう地域全体で育てていきたい、という願いのもとに地域に軸足を置いて取り組みを進めています。学校と家庭、地域の絆を深め、より一層の教育力向上と地域活性化に向けて一翼を担っていければと考えています。(西部地域学社融合推進協議会会長:高地勝司)

展示イベント

春休みには、企画展に行ってみよう!

いずれも、休館日は月曜日(祝日の場合は翌平日)です。
※県立近代美術館、県立博物館、県立紀伊風土記の丘、県立自然博物館は、入館料が必要な施設ですが高校生以下は無料です。

県立自然博物館 海南市船尾370-1 ☎073-483-1777

月刊クイズで楽しむ自然博物館



自然博物館では、毎月、月替わりで展示物に関するクイズを行っています。クイズを解いて、じっくり展示を観察してみませんか? 館内に問題用紙を設置していますので、いつでも参加していただけます。クイズの全問正解者には抽選ですてきなプレゼントがあります。

県立図書館 和歌山市西高松1-7-38 ☎073-436-9500

「新しい生活がはじまるよ!」

会期 3月16日(木)~4月7日(金)

児童室内にある季節の展示棚(児童室カウンター前)に、「入園・入学」や「ともだち」に関する児童書約200冊を展示・貸出しています。子供たちの成長にともなって、環境が大きく変わるこの季節ならではのテーマの本を取り揃えています。

県立近代美術館 和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8690

コレクション展 2017-春 わかやまの名品選 特集展示 群像-交錯する声

会期 1月27日(金)~5月7日(日)

近代美術館所蔵の名品を紹介するとともに、特集展示では、複数の人物をひとつの画面に収めた作品を紹介し、そこに交錯する人間模様をご覧ください。

県立紀伊風土記の丘 和歌山市岩橋1411 ☎073-471-6123

春期企画展「古代のアクセサリー」

会期 3月14日(火)~5月14日(日)

岩橋千塚古墳群をはじめ、県内の発掘調査で出土した原始・古代のアクセサリーを紹介します。

県立博物館 和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8670

躍動する紀南武士 -安宅氏と小山氏-

会期 3月11日(土)~4月16日(日)

紀伊国南部(紀南)では、平安時代の終わりごろ以降、熊野水軍など多くの武士が活動していました。この企画展では、日置川流域に拠点をもった安宅氏や小山氏に関わる初公開の古文書を中心に、鎌倉時代~江戸時代の熊野の山林や海を舞台にたくましく生きる紀南武士の姿を紹介し、新たな熊野水軍の実像に迫ります。

きのくに教育めぐり

教育長挨拶

有田川町教育委員会

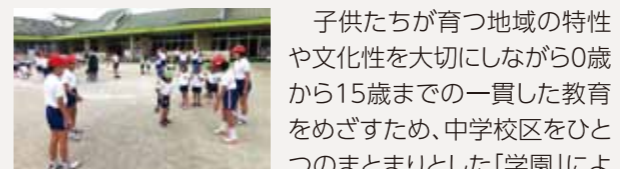


有田川町では「有田川がつなぐ 人と自然 山とまち 交流が未来をつむぐ」を基本理念として、自然や文化を大切に、魅力と活力のある町づくりをめざしています。教育委員会では中学校区で連携して取り組む教育を基盤に、学力や体力の向上、特色ある学校づくりを推進しています。各学校が独自に執行できる「教育活動奨励金」の導入をはじめ教育設備の充実(すべての教室にエアコン設置等)や適応指導教室の開設など教育環境の充実に努めています。

平成23年度より保育所関係業務を福祉課から教育委員会へ移管し、保育所と学校の連携がより有機的で迅速に行われるように機構改革を行いました。これにより「保小中連携」を一層推し進め「つながりのある教育」の中で有田川町の子供をより豊かに育てていきたいと考えています。

有田川町教育委員会 教育長 楠木 茂

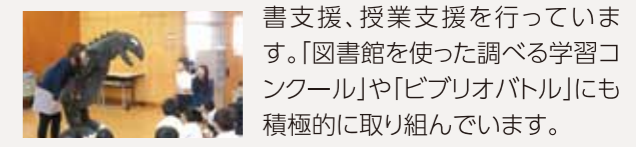
中学校区一貫教育の推進と充実



子供たちが育つ地域の特性や文化性を大切にしながら0歳から15歳までの一貫した教育をめざすため、中学校区をひとつのまとまりとした「学園」により中学校区一貫教育を推進しています。学園長(中学校長)が中心となって研修や行事等を企画し、保育所を含めた交流を推進しています。また「こころ」「からだ」「まなび」を柱に、学習面や生活面における一貫した指導方針を策定し格差と段差のない充実した教育をめざしています。

読書活動の推進

有田川町では「有田川町こころとまちを育む読書活動推進条例」を制定しています。教育委員会では学校図書館支援センターを設置し、公共図書館との連携を進めています。学校図書館の蔵書のデータ化、公共図書館と全学校のネットワークの構築により相互貸借ができるようになり、蔵書の有効活用を行っています。また、学校司書を4名配置し、図書整備や読書支援、授業支援を行っています。



「図書館を使った調べる学習コンクール」や「ビブリオバトル」にも積極的に取り組んでいます。

中学生海外派遣事業

未来を担うリーダーの育成を目的として、平成10年度から毎年実施しています。今までに約450名が参加しました。夏休み中に約2週間、オーストラリアのダーウィン市とパーマストン市に30名の中学生を派遣しています。中学生たちはホームステイをして現地の学校に通います。多感な時期に異文化に触れることで、広い視野をもち多様な考え方ができるオピニオンリーダーとなってくれることを期待しています。

